

平成26年度全国学力学習状況調査(6年生)・ジョイントプログラム(5年生6年生)結果から 京都市立西郷小学校

日頃は、本校教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。4月に本校6年生が行いました、全国学力学習状況調査と、8月に5年生6年生が行いました、ジョイントプログラムの結果がまとまりましたので、状況をお知らせいたします。これは、あくまでも、学力の一部で全てではありません。

<全国調査の総合結果より>

国語A（知識）については、全国平均を上回りました。国語B（活用）算数A（知識）B（活用）は、全国平均並でした。調査当日、児童は真剣に問題に向き合い、最後までやりきろうとする姿がありました。

国語では	算数では
A（知識）では、昔から有名なお話や人から生まれた言葉である「故事成語」（例えば五十歩百歩や温故知新など）の正答率が課題となりました。そこで、朝会などで、言葉と接するようにしています。	A（知識）では、小数計算や図形に課題が見られました。そこで、小数計算を確実にし、図形の丁寧な描き方指導を行います。
B（活用）では、自分の意見を「書く力」に課題がありました。そこで、付箋を使って意見をまとめて書くなど工夫したいと思います。	B（活用）では、「数学的な考え方」に課題がありました。そこで、示されたきまりや情報から計算し、その理由を考える授業を心がけるようにしていきます。

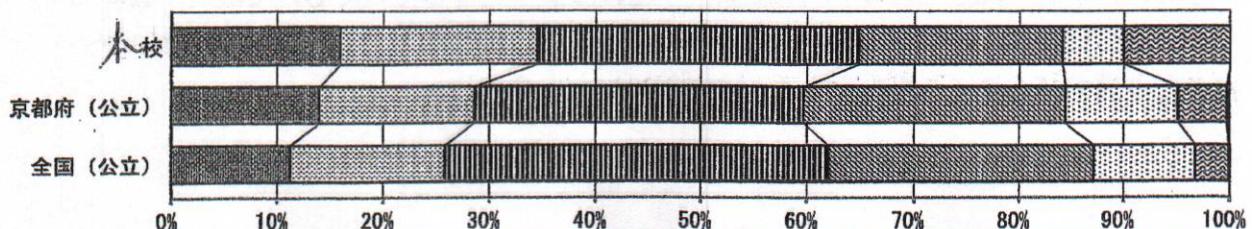
<児童質問紙調査より>

○授業以外での学習時間を聞いた設問では、下のグラフにもあるように、「1日3時間以上勉強する」「2時間以上3時間より少ない」と答えた児童の割合は、京都府や全国より上回っている一方で、「全くしない」と答えた児童の割合も京都府や全国より多くなっています。ただ、「家で、学校の宿題をしていますか」という設問には、「全くしていない」と答えた児童の割合は0%でした。

つまり、宿題はするが、それ以外の「予習・復習」などはできていない児童の様子が分かります。中学校に向け、自学自習の定着（特に中学校の先生からは、予習が大切といわれています）が重要だと思われます。

Q 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強しますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

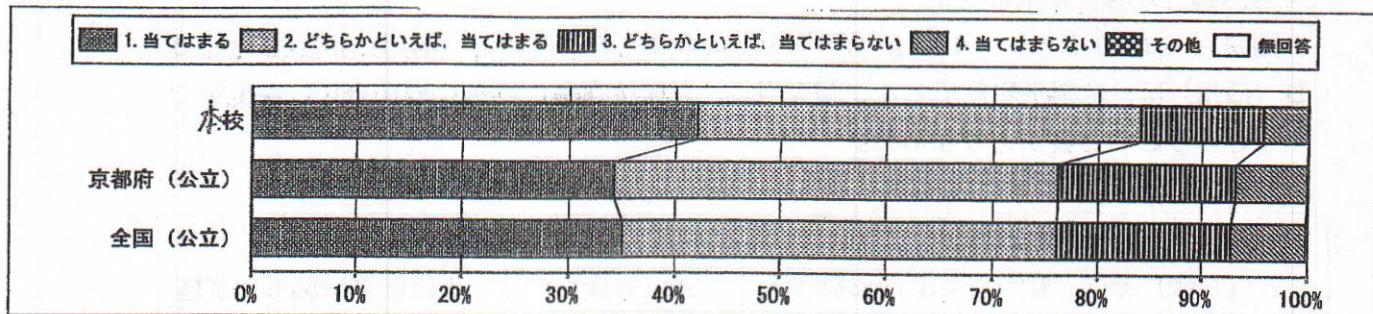
- 1. 3時間以上 ■ 2. 2時間以上、3時間より少ない ■ 3. 1時間以上、2時間より少ない ■ 4. 30分以上、1時間より少ない
■ 5. 30分より少ない ■ 6. 全くしない ■ その他 □ 無回答



○本校では、「自分のよさを磨き、一人一人が光り輝く子どもの育成～人権という価値観の確かな定着を目指して～」という学校教育目標のもと、保護者や地域の皆様のご協力を得て、教職員一丸となって児童のよさを高める取組を進めています。

「自分には、よいところがある」と答えた児童の割合は、どちらかといえばを含め、84%と京都府や全国の平均を上回っています。

Q 自分には、よいところがあると思いますか



<ジョイントプログラムの結果より>

6年生では、全国調査と比べ、国語・算数とも児童の正答率が大きく伸びています。特に、算数においては、今年度、人権教育を通した算数科を研究しており、昨年5年生の時に比べ、およそ5ポイントの伸びとなりました。

授業の復習と予習をしっかりと行い、冬休み明けの次回のジョイントプログラムが楽しみになっています。

来年度6年生として全国調査に参加する5年生のジョイントプログラムの結果では、国語・算数とも京都市平均を大きく上回りました。特に、国語では、およそ5ポイント上回りました。

5・6年生のジョイントプログラムの結果については、個人票を返却しますので、次回に向け、復習と予習をしてほしいと思います。

【保護者の皆様へ】

本校は、昨年度まで文部科学省の、昨年度と今年度は京都市教育委員会の、「人権教育研究指定」を受けています。そこで、児童の人権に対する意識を問う設問を見ると、90%以上の児童が「いじめはよくない」と答えています。「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童を含めると、99.2%の割合で京都府や全国を大きく上回っています。

しかし、一人一人の児童の様子を見ていると、トラブルになると、相手の嫌がる言動をしたり、許すことができなかつたりすることがあります。そこで、円滑な人間関係を築けるような教育を行っていきたいと思います。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと環境づくりにご協力をよろしくお願ひいたします。